

INTERKYOTO

インターキョウト



(御室仁和寺)

2001.1. No.13

京都情報サービス産業協議会
発行：京情協企画広報部会

新年のご挨拶

京都府中小企業総合センター所長
今井 賢一



21世紀へ飛躍する京都産業

新年あけましておめでとうございます。新千年期の幕開けを皆様とともに祝いたいと思います。

昨年の京都経済は、和装業界などの地場産業を除いて半導体・IT関連の需要拡大と民間設備投資の回復を背景に企業業績は着実に回復しつつあるものの、京都みやこ、南京都の2信金の事業譲渡問題や日産車体の事実上の閉鎖などの影響もあり、予断を許さない状況にあります。

そして、新たな世紀の始まりとして迎えた2001年は、当センターが実施した府内主要企業の景気見通し調査によると、個人消費や株価の動向を懸念材料として、やや足踏み模様との見方をする企業が増えてはおりますが、民間の設備投資予想では下半期に向けてやや明るさも見えるようです。

このような中で、日本を代表するハイテク・ベンチャー企業の多くが京都から生まれてきたように、今また、経済の持続的発展と安定化を図るため、21世紀をリードする新産業・新技術の創出を京都から発信することが望まれています。

当センターでは、中小企業基本法等の改正による新たな中小企業支援方針に沿った新事業創出及び経営革新施

策を推進するため、経営・技術が一体となった全国唯一の総合的支援機関としての特色を発揮し、各種の相談・指導、人材育成、情報提供とともに、金融斡旋、研究開発、機器開放、EMC（電磁波障害）対策を始めとする部品・材料等の高度な試験分析測定、デザイン振興に努めてまいります。

また、国のIT基本戦略を先取りした企業のIT化支援事業やインターネットを利用した定期的な情報（メールマガジン）発信を始め、本府が南部地域を中心に進めている「ITバザール構想」の実現に向けた支援研究・事業に積極的に取り組んでまいります。さらに、関西文化学術研究都市との連携をより強化し、同都市を拠点とした研究コンソーシアムの充実・強化に努めるとともに、立地研究機関や大学の研究シーズと府内企業のシーズとのマッチングを推進するなど、新世紀をリードする新産業・新技術の創出に向けて職員一同全力を尽くす所存でございますので、本年もご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の一層のご繁栄とご健勝を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

平成12年度秋期総会を開催

第一部総会

法人団体認可へ向けた正念場、
下半期の事業活動が承認される。



京都情報サービス産業協議会の平成12年度秋期総会が10月31日、平安会館で14時から開催されました。上半期で1社の退会があり全会員49社から28社（委任状出席11社）が出席し、また、ご来賓には京都府商工部産業推進課課長の山下晃正氏、同産業技術係主任の岡田宏一氏、京都府中小企業総合センター経営課課長の岩田信介氏、同主事の仁科豪士氏、京都市産業観光局商工部産業振興

課課長の大森憲氏、同振興課係長の安井輝夫氏にご臨席いただきました。

白石議長の元で議案審議が始まり、第1、2号議案で平成12年度の上半期事業報告と上半期収支報告、第3号議案で平成12年度下半期予算修正の件、第4号議案で新入会員（賛助会員）承認の件で新たに4会員（株式会社アシスト京滋営業所、日本電気株式会社京都支社、学校法人京都科学技術専門学校、学校法人京都コンピューター学院）の入会申込みについて植田事務局長より説明があり、また法人化準備委員会の活動経過報告については間淵委員長から京都府情報産業協会（仮称）設立事前協議書資料に添って説明があり各議案が審議されました。

各々の議案で質疑応答、採決の結果、全て原案通り満場一致で承認されました。

議案審議終了後、新たに入会を承認された賛助会員の代表として（株）アシストの石田課長様から自己紹介がありました。最後に北村晃協議会副会長の挨拶で総会を閉会しました。

白石会長開会挨拶（要旨）

今年春の総会以降、法人化準備委員会の活動において京都府商工部の方々からご指導を受けつつ、今年度中の社団法人化を実現するために積極的かつ暖かいご支援を頂きました。



このため設立事前協議に進むことができ現在、精力的に審査していただいています。府商工部はもとより側面からご支援いただきました京都市、府中小企業総合センター経営部の皆さんにも厚くお礼申し上げ、会員の皆さんに現状を申し上げます。また、協議会では法人化準備委員会の間淵委員長のもと活動いただいた各委員の皆さんにも厚く感謝いたします。

現時点の態勢としてはあと一息であると判断しております。今年度中には社団法人が実現し来る新21世紀に歩調を合わせ、新たな協議会がスタートできるよう手綱を緩めずに今一歩のご尽力と協議会の事業推進に是非ご協力をお願いします。

最近の経済状況はバブルの後遺症として、京都府でも金融再編が進んでいると思われ予断を許さない状況にあります。国家施策では森総理がIT基本政策のe-ジャパン構想を発表されIT革命を一大国民運動に展開す

る決意とされています。我々、情報産業界はこの動向をキャッチアップして京都の活性化に結び付けていかねばなりません。

この下半期が協議会の法人化実現への正念場であり、本日、ご臨席賜りました府、市のご来賓の皆様には後一步の暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご来賓挨拶（要旨）

京都府・山下課長

先日、海外からIT関連の企業が10社入浴され、京情協会様のご協力で5社が京阪奈プラザでビジネスマッチングの場を持った。半数以上の海外企業が京都に関心を抱かれ、事業展開が出来うる土地柄との



感想を示していただいた。また、今年 山下課長もエデュテイメントフォーラムへのご支援を感謝する。

法人団体に関しては社会的な情勢も背景にあり、国からは新規法人化について厳しいハードルを示されている。商工部としては前向きに応援するが、これからが本申請の正念場であり他部門の条件ハードルをクリアするためのご協力をお願いしたい。

京都府中小企業総合センターの今井先生を座長する審議会では、京都をITのメッカにするため「ITバザー

ル構想」を昨年の9月から策定に着手し1月には完成している。国の施策と同様に京都もITを機軸とする方針で取り組むため、この施策推進へ協議会としても支援いただき、この地が海外企業からも魅力のあるバザール(市場)が生まれ商取引が活発に行われる町造りをしたい。京都市では南部地域開発で高度集積地区構想があり、この施策実現とも直結するとみている。

法人化実現の後にも継続的なご協力、ご支援いただきますようお願いしたい。

京都市・大森課長

本日の議案審議にもあるよう新入会員の入会承認がされ続々会員増強をされ、京都の情報産業の分野において協議会が大きな位置づけを益々示しつつあると実感している。情報化推進には側面から協力していきたい。



IT、情報化が我々にもたらす意味に大森課長について、産業構造を大きく変換していく力、市民生活、役所の役割に新たな展開が見い出され一つの夢を与えてくれる側面があり単に金銭のためだけではない。この点を強調しつつ市民生活へアプローチするため委員会を中心に戦略会議で学識経験者を交えて議論している中で、比喩的な言葉で表現すればITには「光と影」がある。これは即ち物の見方の両面であることが理解できた。一見、影と思える物が光の兆しである点。ニッチの中にIT革命の本質があると認識した。今後、京都のIT戦略のあり方について継続議論し、年度内に行動計画を市民に示す予定です。今後は産官学の自主的な動きが支えとなるため、京情協の法人化への動きや日常的な活動に大きく期待している。

法人設立事前協議の進捗

法人化申請の現状につきましては、本会報誌の前号に法人化準備委員会間瀬委員長の挨拶「本年中の法人化申請を目指して」本文に記載されております、京都府との事前協議段階にあります。

既に商工部様より掲示のご指示をいただいた設立趣意書事業計画書等の「社団法人設立事前協議資料」の作成を終え提出し最後の詰めの中にあります。

今後、事務レベルでの確認を取り付け、審査会付議・承認後本協議会の解散総会および社団法人設立総会を開催その後社団法人設立申請書提出、設立許可書交付、設立登記、設立登記届出と進められることとなっております。

第二部講演会「京都情報化フォーラム」

通産省情報化月間協賛

主催:京情協 / 協賛:府・市・京産情・京都新聞

演題:「**北欧はなぜ次世代モバイルIT革命を成し遂げたか**」

講師:東京大学大学院

新領域創成化学研究科

メディア環境学分野

助教授 武邑 光裕



総会終了後、会場を移して記念講演会

が開催され当協議会の池田昭幹事の司会進行で、白石会長が開催挨拶と武邑先生へ感謝のことは述べられ、司会者から先生の略歴が紹介された。

演題のサブタイトルを「フィンランド、スウェーデンに学ぶIT革命と京都のブランディング情報戦略」とされ、北欧を世界標準に押し上げた社会基盤、両国の国家的な競争力を今日の地位まで上げた施策を3つ上げられ、1)「知識基盤型社会(knowledge based society)」、2)「グローバル・ニッチ・スタンダード(global niche standard)」、3)「クラスタニング(clustering)」が原点になっていると分析された。また、IT国家戦略の違いについて研究開発の予算執行の権限、方法論に決定的な違いがあり、その力が企業間や大学間の開発競争力を向上させる仕掛けとなっている。

モバイル革命が起こる21世紀は無線インターネットの領域が社会を大きく塗り替えることになり、様々なメディアが垣根を超えて統合される「ハイブリッドなマルチメディア」が生まれる。この分野の新アプリケーションは「ロケートッド・インフォメーション(located information)」が主流となり、消費者ニーズを反映した様々なサービスが今後、提供されていくといわれている。

フィンランドを理解するための4つのキーワードは「SUOMI」「SISU」「SAUNA」「SIBERIUUS」であり、日本もこの文化や精神に近いのではないかと。今後は地域社会が世界と直結し、特に京都はブランド力でニッチなスタンダードをグローバル化していくために「京都型IT基盤」を官民が一体でブランディングしていく時期であると提言された。(講演概略)



第三部懇親会

記念講演会の後は会員懇親会が開かれ、けいしんシステムリサーチ(株)取締役の出野幹事(企画広報部会長)の司会進行により、当協議会の副会長で(株)京信システムサービスの間淵和正社長から開会の挨拶がありました。



柳田監事

ご来賓を代表して京都府中小企業総合センターの岩田信介経営課長のご挨拶をいただきました。

乾杯のご発声は京都コンピューター事業協同組合の田中義則理事長からいただきました。60名余りの来賓、会員各位による懇談の場が持たれ、最後に当協議会の監事であるワールドビジネスセンター(株)の柳田稔社長の中締めご挨拶で散会しました。



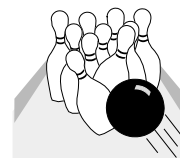
第2回・会員親睦「ボーリング大会」

昨年ボーリング部を発足した会員チームが
今大会で初優勝を飾る。



平成12年8月23日にしょうざんボーリング場で第2回目の会員親善ボーリング大会を開催しました。15社から20チーム66名と多くの会員の方々が参加され、会社対抗試合の様相で熱戦が展開されました。この大会のために会社内でボーリング倶楽部を結成された会員様もあり益々盛大になっています。

- 成績：優勝 (株)総合システムサービス
2位 (株)スリーエース(Bチーム)
3位 オムロンソフトウエア(株)



= 優勝した総合システムサービス様(メンバー)の声 =

[今井 稔]様

私たちはボウリング部を設立し、ようやく一周年を迎えようとした頃に、本大会において見事団体優勝を手にする事ができました。ちょっと早すぎましたが、喜びと楽しいひとときを頂戴させていただきました。部員一同より厚くお礼申し上げます。

今回の勝因の一つにはボウリングが好きな人が集まりそして、とにかく日頃の練習を楽しみながら活動していた事に尽きると思います。今後もボウリングの楽しさ、勝った時の喜び、負けた時の悔しさ、そしてボウリングを通じて会社や仕事の枠を超えた人との出会いを大切にしていきたいと思っています。

次回大会もボウリング+仕事+プライベートのタイトなスケジュールをこなしながらも連覇を手に出るよう頑張りたいと思います。

[本郷 麻咲美]様

この度は、第二回ボーリング大会に参加させていただき有難うございました。日頃なかなかお会いすることが出来ない他企業の皆様とご一緒させて頂くことができ、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。近々第三回を予定されているとのことでしたので皆様にまたお会いできるのを楽しみにしております。

[國光 宏晃]様

父がボウリング世代ということもあり、昔からボウリングに親しんできましたが、今井先輩の熱心な勧誘、そして部活動を通して大会への参加、ますますボウリングが好きになっています。

いろんな方々と一緒に楽しめるボウリング。
ひとつのスポーツとしても奥の深いボウリング。
ボウリングは永遠に不滅です。

京情協 新世紀オープンメッセージ

その1
50音順

(株)アクシス
2001年新年を迎え、世界中の国が本格的にIT化を推進していく時代に入りました。その中で京情協がいよいよ法人化を実現し、地域社会の中で活動をさらに発展されていくことを期待します。

アド・プロヴィジョン(株)
新世紀!ものすごい変化の真っ只中を漂っています。しかし、社会がどの様に変化しようとも、時間だけは刻々と進んでいます。着実に。この時間を如何に活用するかで、変化をうまく取り込めるのではないかと考えています。

アステック(株)
《21世紀》という言葉は「遠い遙かな空想科学的未来」の代名詞のようでしたが、現実を向かえる今、IT革命が進展し、天と地との差が生まれる知能社会の到来を予感させます。今世紀もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ウエダコンピュータシステム(株)
21世紀は、「宇宙を想え、人愛せ」の社是の基に、ISO9001品質システム・ISO14001環境マネジメントシステムの認証取得企業として、顧客に信頼と満足を与えるソフト製品造りと環境にやさしい機器販売・保守サービスに努めます。

エイジシステム(株)
新世紀を迎えるにあたり、新しい分野で具体的に実を結ばせるスタートの年となるように頑張りたいと考えております。京都情報サービス産業協議会と共に成長させて頂きたいと願っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

オムロンソフトウェア(株)
明けましておめでとうございます。新しい世紀が過去100年の10年くらいの時間で変革していくことでしょう。IT技術がまちがいに生活習慣、職場環境を変貌させる時代に生きぬく強みのある企業に成長したいものです。

(株)カスタムウェア
新たな世紀を迎え、当社は従来の基本方針であります「ハード」「ソフト」「メンテナンス」のより一層の顧客満足度の向上に加え、新たな分野の商品展開を積極的に進めてまいります。京情協が新世紀の業界の発展に貢献することを期待しております。

(株)カワイプロ
新しい世紀をワクワクしながら待っています。どんな時代にするのかは、今の私たちが答えを持っています。で、当社の答えは、「みなさん!スゴクいい時代にしますので、楽しみにしていて下さいね」

(株)京信システムサービス
新たな21世紀を迎え、進歩著しい情報社会において当社は、顧客ニーズを満足させるための情報技術を提供する事を使命とし、21世紀のナビゲータとしての役割を担いたい。

(株)京装コンピューター
21世紀の幕開けで、激動の年明けと感じておりますが、その反面輝かしい年明けともなり、気持ちは入り乱れている状況ですが、情報産業の業界に携わっている企業として躍進でき期待を持てると考えています。

(株)京都インクス
混沌、破棄、発展、加速 21世紀はまた技術が大きく変革する。食らい付かないと敗北しか待っていない。

京都工業(株)
新世紀を迎えるにあたり、新たにスタートする気持ちで一人一人が常に目標を持ち、それに向かっていくことで技術・人間性共に成長させていくこと、さらに社会に貢献できるよう努めます。

京都システムズ(株)
明けましておめでとうございます。いよいよ新世紀がスタートします。他人まかせでなく、自ら積極的に行動することにより、混沌とした世情から脱却し、明るい未来を切り開いてゆきたいと考えております。

(株)京都ソフトウェアリサーチ
当社にとって2001年は大変革の年です。受託開発主体の事業体制をソフトウェアメーカーとしての体制に転換します。組み込みシステム分野の自社商品の開発販売を推進し新たな領域に挑戦します。

(株)京都テクノシステム
20世紀が科学と技術の機械文化であったとすれば21世紀は情報と感性が基盤となった時代になるはず。この大きな転換というチャンスを生かす基盤を作りたい。

京都電子計算(株)
新年おめでとうございます。IT革命の大きなうねりの中で激動の20世紀の幕が閉じ、いよいよITが原動力となる21世紀、変化に柔軟な発想で対応し、ベストソリューションの提供に努めます。

(株)近畿リサーチセンター
21世紀の幕開けです。益々ビジネスチャンスの宝庫である情報ネットワークの本格的な時代が、今將に到来しようとしています。京情協の皆様と共に、ネットワーク社会構築の責任の一端を担えるよう精一杯頑張ります。

けいしんシステムリサーチ(株)
今年、巳年です。特徴に脱皮があります。再生して成長していく姿は神秘であると共に新たな希望を感じさせます。自己再生を志し、成長の糧を握ります。謹賀新年、本年もよろしく願い致します。

(株)ケーケーシー情報システム
いろいろあった20世紀より、もっといろいろ起こるであろう21世紀を迎え、社員一人一人が高度技術の習得に努め、品質の高い商品・システム開発及びサービスを提供して地域社会の情報化推進に挑戦し続ける。

(株)サンモアテック
私どもは、EAI/EJB/XMLはじめ最先端ITを導入して的確にお客様のニーズにお応えしようとして参りました。新世紀の幕開けにあたり、更に技術力を磨き、お客様の夢の実現を支援して参る所存です。

シーエスケイ関西システム(株)
明けましておめでとうございます。当社は、「情報ネットワークで結ばれた21世紀の社会を実現します」と言うスローガンで経営して来ましたが、新世紀からは「エレクトリックサービス(ES)特化で事業拡大」でがんばります。

(株)ジーエス情報ネットワーク
21世紀を迎えてお客様の満足を第一にさらなる未来にチャレンジし、進展する高度情報化社会に貢献していきたいと考えています。本年もご支援・ご指導のほどよろしくお願い致します。

シーク電子工業(株)
皆さん新世紀おめでとうございます。世紀末の激動に四苦八苦し、何とか凌いでまいりました。いよいよ新世紀に入り待ったなしの対応に迫られています。新世紀に相応しい会社作りを目指します。

シゲル情報サービス(株)
21世紀の私たちのあるべき姿は“あらゆるニーズにも対応できる柔軟で小集団による大きなネットワーク組織をつくること”だと思っております。京情協の皆様と共に京都の発展に努力したいと思います。

(株)システム ディ
いよいよ「未来」と同義語であった「21世紀」の開幕です。今世紀を薔薇色の時代に成す上で情報通信が果たすべき役割は何にも増して大きいものと考え、社員一同真摯に、そして一層エネルギーに挑戦していきたいと存じます。

システムプロデュース(株)
21世紀に勝ち残るためのコア・コンピタンスとして、今までに蓄積したノウハウを元に当社独自のソリューション事業やパッケージなどの商品開発に力を入れていきたい。

島津エス・ディー(株)
当社が長年培ってまいりました情報処理技術と、ネットワーク構築の経験が物流業界への発展に繋がりはじめてまいりました。この発展をより確実なものとし21世紀にはばたいていきたいと願っております。本年もご支援・ご指導のほどお願い致します。

(株)島津ビジネスシステムズ
21世紀は環境世紀。地球環境の保全への貢献のため、先進情報通信技術を積極的に吸収し、顧客に満足をしていただけるベストソリューションを提供してゆきたいと考えています。

その2
50音順

京情協 新世紀オープンメッセージ

(株)スリーエス
新しい世紀を迎えて！新世紀に情報産業は更なる大きな発展を遂げる事でしよう。情報の保存と伝達をより多くの人達がより簡単に行なえるよう、私達はプロとしてお役に立てるよう努力します。

(株)ゼロワン
謹賀新世紀
新世紀の門出を迎えるにあたりまして、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。

(株)総合システムサービス
「スピードは神、鈍足は悪魔」の価値観で選挙監視団が必要な米国、先行しているITも粗雑な面も多いはず。真に有用なシステム構築は競争激化市場でも生き残れる。慌て過ぎることはない。

竹菱電機(株)
21世紀はIT経営の時代に突入。スピード経営、コスト削減、品質向上、グローバル化などの課題を解決して行く為に、地域密着した京情協メンバーがパートナーとして活動して行くことが、真のコラボレーションにつながる。

中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)
新世紀がいよいよ幕開けを致しました。今世紀は情報処理業界がリーダーシップを発揮する世紀であると確信をしております。我業界が社会の基盤的存在だけでなく、新産業・文化の創造の役割を担えるよう共に頑張りましょう。

(株)日新システムズ
明けましておめでとうございます。本年は、社会環境が悪化のなかで企業として独立できる強い体質を築くため生産性向上・品質向上を強力に推進する必要があり、困難を乗り越えて前進したいと考えております。皆様方もご活躍されることを祈願しております。

日本コンピューターファシリティ(株)
2001年そして21世紀、子供の頃の「遠い夢の未来」が現実となりました。20世紀に果せなかった夢を、今世紀こそ「Dream come true」となるように。

パンテック(株)
21世紀は本当に人々が心豊かになるように、生きがい、やりがいのある社会をつくるために私たち企業に携わるものとして真剣に考え、出来ることからそれらを実行することだと思えます。皆さん一緒にがんばりましょう。

平成情報サービス(株)
新世紀は、日進月歩で革新してゆくIT技術によって新たな基幹産業の創出の幕開けとなろう。既存の産業構造や社会の仕組みに大変革がおこるなかビジネスチャンスをつかえ新事業の開発に積極的な取り組みを行う。

(株)モーダス
21世紀の到来です。「20世紀との違いをどう持たせるか」を選択出来る状況の中、20世紀で築いた礎の上に、我が社のオリジナリティをどのように加えるかを考え、行動する所存です。御指導の程宜しくお願い致します。

(株)ユニシス
21世紀、IT時代の幕開け。ITは万能ではありません。ITには感情・心がありません。経営は人と人の感情のぶつかり合い？人とともに企業は成長する。いつの時代でもそれを経営者はおろそかにしたら終わりです。

(有)リラテック
21世紀を迎え、ワールドワイドに変革するビジネススタイルをチャンスとして捉え、情報技術とヒューマンリレーションをモットーにソリューションビジネスを展開し、情報化社会の進展に寄与したい。

ワールドビジネスセンター(株)
新年おめでとうございます。さて、前世紀末、経済界には思もかけない様々な事が起こりました。新世紀を迎えこの動きはしばらく続くと思われまふ。我々はこの流れを常に把握し、的確に行動したいと思っています。

(賛助会員)
関西日本電気ソフトウェア(株)京都支社
新年明けましておめでとう御座います。新世紀は、まさにIT世紀となり、言葉や文化までグローバル化すると考えます。企業のIT化度と企業経営は相関し、ITに携わる私共の役割は益々重要になると思います。

(新規入会賛助会員)
(株)アシスト 京滋営業所
アシストは、多様化、複雑化する様々な企業システムを豊富なソフトウェアの提供と、長年にわたり培ったノウハウで強力にサポートしていきます。21世紀もお客様にとって最高の会社を目指します。
代表者名：京滋営業所長 寺沢 徳之
担当名：課長 石田 直樹
所在地：〒600-8233 京都市下京区堀川通塩小路上路 資生堂京都ビル3F
電話：075-344-6450 F A X：075-344-6428

京都科学技術専門学校
日々進歩する情報技術をできる限り早く学生に教えることができるように日夜努力していきたくと思います。企業の皆様方のご支援ご指導をお願い致します。
代表者名：理事長 松島 義宏
担当名：情報システム学科主任 林 正幸
所在地：〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下西油小路町27番地
電話：075-371-4040 F A X：075-361-4090

京都コンピュータ学院
IT新世紀の幕開け。本学院はIT分野で全米トップのロチェスター工科大学との教育ネットワーク構築など、IT時代の人材育成を行っております。新世紀の京都企業を人材供給など多面からご支援させていただきます。
代表者名：学院長 長谷川 靖子
担当名：(総務部) 岸本 詳司
所在地：〒606 京都市左京区百万編上路
電話：075-711-0161 F A X：075-722-2283

日本電気(株)京都支社
インターネットがブロードバンドとモバイルに発展していくなか、社会のあらゆる人がこのインフラの上でつながります。二十一世紀の新たな世界「i S o c i e t y」を実現する為により一層の努力をして行きます。
代表者名：京都支社長 木沢 隆
担当名：部長 松尾 和孝
所在地：〒600-8428 京都市下京区堀川通綾小路下ル綾堀川町293-1
電話：075-344-7821 F A X：075-344-7831

(株)日立製作所京都支店
新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。本年2001年は、いよいよ21世紀の幕開けの年です。京都情報サービス産業協議会の皆様と共に、いろいろな夢や希望を叶えられる新世紀を創造してまいります。
代表者名：京都支店長 鴨井 行雄
担当名：部長代理 北川 久人
所在地：〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 四条烏丸F Tスクエア4階
電話：075-223-5611 F A X：075-223-5601

この企画は、メッセージをお寄せいただきました会員様の原稿をそのまま掲載しました。ご協力ありがとうございました。
(企画広報部会)

無限の可能性を秘めた若い能力を思う存分発揮してもらうために、
組織を細分化し、個々のパワーアップを図っています。



シゲル情報サービス株式会社

本社
〒541-0045 大阪市中央区道修町3-3-11
TEL(06)6232-0551 FAX(06)6232-0462
京都営業所
〒600-8095 京都市下京区東洞院綾小路下ル扇酒屋町289
TEL(075)344-3070 FAX(075)344-3080
ホームページ
<http://www.shigeru.co.jp>

システムコンサルティング事業
オープンシステム、ダウンサイジングの導入、アップグレードに際しハードウェア、ソフトウェア、CASEツールの選択、活用、提案までトータルなシステム構築をコンサルティングいたします。
ソフトウェア開発事業
ビジネス分野を中心にあらゆる業種、業態のシステム開発を行います。
また、パーソナルユースからUNIX、汎用機まで幅広いシステム開発を行っています。

ファシリティー・マネージメント事業
ユーザーのコンピュータ室の一括管理を担当。コンピュータの使用から、運営・管理までトータルに取り組んでいます。
OA機器販売(パッケージソフト)
OA機器およびパッケージソフトを販売しております。

アシスト

アシストは、多様化、複雑化するさまざまな企業システムを
豊富なソフトウェアの提供と長年に渡り培ったノウハウで
強力にサポート。お客様にとって最高の会社を目指します。

主な業務内容

国内外の優れたソフトウェアの販売 ソフトウェアを効果的に使用するための導入・教育・サポート
サービスの提供 お客様のビジネス実現のためのコンサルティング
IT業界に向けた先進の情報発信とコーディネーション など

主な取扱製品

既存システムをサポートする製品のみならず、インターネットの普及に伴うビジネス環境の変化にも迅速に対応できるツール群の提供にも注力しています。

- ・データベース関連(Oracle製品)
- ・データウェアハウス活用(BusinessObjects, EDA, Copy Manager, ManagerIT Fast Unload for Oracle, SyncSort 他)
- ・システム管理(JP1 Version6, NetWizard 他)
- ・セキュリティ(getAccess, eTrust Access Control 他)
- ・開発ツール(PowerBuilder, FOCUS Desktop 他)
- ・テストツール(LoadRunner 他)
- ・Webシステム関連(WebFOCUS, Enterprise Application Server 他)
- など



株式会社アシスト 京滋営業所

〒600-8233 京都市下京区堀川通塩小路上ル 資生堂京都ビル3F TEL: 075-344-6450 FAX: 075-344-6428
URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>

本社・東京 〒105-8406 東京都港区虎ノ門3-1-1
札幌 〒060-0808 札幌市北区北8条西4-1-1 JCTビル8F
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区東2-14-21 円山ビル11F
長野 〒390-0815 松本市深志1-4-25 松本フコウ生命駅前ビル6F
北陸 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテビル8F

大阪 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル28F
神戸 〒650-0035 神戸市中央区浪花町59 神戸朝日ビルディング22F
広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 朝日生命ビル9F
福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前2-1-9 ツマエ博多駅前ビル3F

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

技術部会・会員交流会新企画 「第1回SE交流会」

技術部会長 山本 孝

今年度の新規事業として技術部会担当による“SE交流会”を9月20日に開催致しました。

本交流会の目的は、日頃同業他社との接触が少ないシステム開発部門の中間管理職・中堅社員を対象として、実務者同志の情報交換によって課題解決の糸口を探り、またマネージメントの向上に役立てば、ということを狙いとして開催致しました。

参加者は13社から24名の多数の方が参加され、A・B 2グループに分かれてそれぞれのグループ内で自己紹介に加えて中堅管理者としてテーマにしていることを披露していただきました。

各自から披露された数多くのテーマの中から共通テーマとして、システム開発の工数見積（見積提出後の仕様変更・追加に対する対応、見積手法）、SEのキャリアパス（開発内容に対応した要員のローテーション）、

部下をどのように動機付けるか（先行投資と費用のジレンマ、世代断層の融合化）、新技術の習得と技術管理（Web、Iモード...何を選択するか、トラブル時の迅速な対応）を選び各社・各自の事例を交えた活発な意見交換が行われ、予定の2時間を過ぎた閉会後も交流者同志で意見交換がなされるほどの非常に盛り上がった交流会となりました。また、近いうちに是非次回の交流会を開催して欲しいとの意見も出され、技術部会として今年度中に第2回の“SE交流会”を計画したいと考えています。その節は第1回同様、多数の参加者による交流会となることを期待しております。

講演会

技術部会主催

「iモードのビジネス活用事例と 移動通信の今後」

講師：NTTドコモ関西（株）

法人営業統括部 営業推進担当課長

小谷 利夫 氏

技術部会の主催による講演会を平成12年12月14日にハートンホテル京都を会場に開催しました。会員各社から50名余りの参加を得て、技術部会長の島津エス・ディ山本孝氏から講師の紹介があり、小谷氏から「モバイル通信の動向とビジネスへの活用」「移動通信の現状と今後」に関する講演をいただきi-mode普及にいたる開発の歴史、今後のモバイル通信の発展とネット社会の課題を含めた展望を語っていただきました。



経営部会・会員交流会新企画 「情報交換広場」

経営部会長 池田 昭

京情協の会員の皆様、平素は経営部会の活動、行事にご協力をいただきましてありがとうございます。去る11月28日に第1回「情報交換広場」をハートンホテル京都で開催しました。当日は9社11名の「総務部門の部門長レベル」の皆さんに参加して頂きました。今回は参加企業各社の抱えている問題点を提起して頂き、相互の問題解決に役立てていただくのが目的であったのですが、何分にも皆さんが初対面でもあり堅苦しい雰囲気で各社の報告が続きました。しかし途中でホテルからビール、おつまみが出るに及んでグッと砕けた場となり、「特殊団体からの雑誌購入依頼の断り方」、「我が社の人事制度」、「契約書の印紙の節約法」などの実務上で大変役立つ情報が披露され、非常に有意義な会合になったと確信しています。次回は「各社の人事考課制度について具体的な事例紹介」をテーマに開催します。是非、他の企業からの参加を切望しております。終わりに、参加者の皆さんに御礼を申し上げますとともに、会員の皆さんには今後とも「情報交換広場」にご理解をいただきますと共に、沢山のご意見や助言をお願いいたします。



(情報交換広場)

編集 後記

科学の世紀あるいは情報の世紀と言われた20世紀が終わり、若い頃には「輝ける未来」と夢に描いた21世紀を迎えました。20世紀は、物質文明の恵みを受し特に最後の10年は第2の産業革命と称される「IT」の目覚ましい進展がありました。同時に環境破壊を進行させる等多くの難題を生みだし、社会・経済は激しい変化の中で、新世紀の扉を開くことになります。

さて本号の特集として会員企業の皆様から、新世紀に向けてのメッセージをいただきました。その中でも企業が新しい姿に生まれ変わっていく決意を見出すことができます。京都情報サービス産業協議会も法人化を目前に控え、新世紀とともに新しい歴史を刻もうとしており、以前にも増して本協議会の役割は、大変重要なものになります。会員企業の皆様には大いにご活躍していただくことを期待いたします。

2001年もどうかよろしくお願い申し上げます。